

令和4年度 第1層における協議体及びSCの活動状況等について

1 第1層(市域)協議体の進捗について

令和4年7月15日、9月30日、令和5年3月10日に協議体会議を開催し、また、令和5年2月10日には視察を行い、解決策の検討を行った。

(1) ささえ愛サロンの拡充について

「通いやすいサロン、続けやすいサロンとは」をテーマにグループワークを行った。ここで出た意見を、サロンを運営する団体やこれから始めたい方の参考としていただくため、冊子「近所の通いの場・活動の場」(別添)に掲載することとした。



グループワークの様子

(2) 地域の交流拠点の整備について

各地区に市民の交流、相談の受止め及び専門機関へのつなぎ等ができる「プラットフォーム」機能を持つ施設の整備について協議を行った。また、第2層SCを公立公民館に配置している那須塩原市を視察し、情報交換した。(令和5年2月10日)。



視察時の情報交換会

(3) 与一いきいき体操の普及について

筋力低下予防及び運動器機能向上のための「与一いきいき体操」の普及について検討を行った。各地のご当地体操や国体の「いちご一会ダンス」等も実践し比較検証を行った。



与一いきいき体操を実践

(4) その他

- ・第1層協議体においてステッカーを作成・配布し、委員が積極的にマイボトルを利用し、サステナブルな社会の実現を目指すこととした。
- ・与一いきいきメイトの活動場所として高齢者ほほえみセンターが主であったが、メイトや地域から活動場所の拡大について要望を受けたことから、「ささえ愛サロン」も活動場所として取り扱うこととなった。



ステッカー

2 ささえ愛サロン等の進捗状況について

(1) 大田原市ささえ愛サロン事業費補助金交付状況(補助年限3年)

- ・令和元年度 16団体 のべ利用者数8,523人 (1団体当たり約532人)
- ・令和2年度 17団体 のべ利用者数8,925人 (1団体当たり525人)
- ・令和3年度 17団体 のべ利用者数7,170人 (1団体当たり約421人)
- ・令和4年度 4団体 のべ利用者数1,744人 (1団体当たり約436人)

新しいサロンの拡充に向け補助金制度の周知を行うとともに、補助金交付年限を終了したサロンに対しては、活動継続促進のためPR支援・運営指導・情報交換の場の提供等を行っていく。

(2) 地域や各主体との連携に向けて(第1層SCの活動)

①インフォーマルサービスの活用拡大

介護保険制度の持続、自立した在宅生活の継続、支え合いの体制づくり推進のため、制度や税金で行うもの以外のサービスや地域の通いの場(インフォーマルサービス)の情報を集めて冊子を作製し、市役所、社協、地区公民館等に設置するなど市民への情報提供を行っている。ケアマネジャーにもケアプランに取り入れるよう要請し、多様なサービスの構築、介護保険給付費の削減、地域の活性化等を図っている。

- ・冊子「ちょっと頼みたい有料サービス」
- ・冊子「近所の通いの場・活躍の場」

②住民主体で行う支え合いの取組紹介

広報おおたわら紙面に「ささえ愛活動の紹介」コーナーを設け、「気軽にできる助け合い」「地域の身近な居場所」等の情報を市民に提供している。他の団体や地区の取組を参考に、話し合いや活動を進める地区もある。

③地域の課題等の洗い出し及び情報提供(つなぎ)

地域の各種会議への出席や活動現場への訪問をとおして、地域情報や住民ニーズの洗い出し、情報共有(つなぎ)を行っている。

【住民の自主的活動への支援(例)】

民間企業(スーパーダイユー)から移動販売の提案を受けたため、SCが須賀川地区の高齢者ほほえみセンターに情報提供を行ったところ、地区内の3つのほほえみセンターが自主的に協議・調整をすすめ、センター活動日に販売車を呼ぶこととなった。(令和5年3月7日開始・毎週火曜日・各センターを時間差で回る)

